

福島県の農林水産業の概要

特徴・取組

福島県は、東北地方の最南端に位置し、県土面積は13,784km²で北海道、岩手県に次いで全国第3位の広さを有している。

中央部の奥羽山脈と東部の阿武隈（あぶくま）高地の2つの山系が存在するため、山系で隔てられた各地域は、会津地方・中通り地方・浜通り地方の3地域に大別される。

また、地域で気象が異なり、会津地方は山間部を中心に豪雪となる日本海側の気候、浜通り地方は温暖で雪の少ない太平洋側の気候、中通り地方はその中間的気候となっている。

産業構造は、就業者数の比率（令和2年）を産業別にみると、第1次産業が6.2%、第2次産業が29.6%、第3次産業が64.2%となっている。

農林水産業は、大消費地である首都圏に近接する条件の下、全国有数の耕地、森林面積を有しているほか、黒潮と親潮が交わる良好な漁場に恵まれている。

令和5年農業産出額は2,163億円（全国第16位）。農業産出額の内訳は米31.8%、畜産25.1%、野菜22.2%、果実14.7%となっている。

福島県農林水産業振興計画の基本目標「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」の実現に向け、多様な担い手の確保・育成、先端技術の導入やこれに対応する生産基盤の整備、GAPの認証取得促進、県オリジナル品種（「福、笑い」「ゆうやけベリー」等）の普及拡大・県オリジナルブランド牛「福粕花（ふくはっか）」の認知度向上によるブランド力強化、有機農業を始めとする環境と共生する農業の推進等に取り組んでいる。

平成23年3月に発生した東日本大震災と、震災に続く原子力災害により、農林水産業は、かつてない甚大な被害を受けた。大津波により生産基盤は大きく損なわれるとともに、原子力災害においては、国の避難指示や農林水産物の出荷制限、風評による販路の縮小と市場価格の下落など深刻な事態に直面した。

これまで、農林漁業者を始め、行政、団体等関係者の懸命な努力により、原子力災害被災12市町村における営農再開率が49.7%（令和6年3月末現在）まで回復するなど、農林水産業の復興・再生は着実に進んでいる。

主な農林水産物

もも

6月～9月が旬。
夏の暑さが甘みを凝縮。代表品種「あかつき」、「はつひめ」、「ゆうぞら」など。
（収穫量全国2位）



きゅうり

7月～9月が旬。
夏秋きゅうりの生産量が全国1位。パリッとした食感とみずみずしさが特徴。
（収穫量全国4位）



アスパラガス

4月～9月が旬。
会津地方を中心に、「ウェルカム」、県オリジナル品種「ハルキタル」など。
（収穫量全国9位）



トマト

7月～10月が旬。
高冷地の南会津では、昼夜の寒暖差で高品質な「南郷トマト」の栽培が盛ん。
（収穫量全国8位）



日本なし

8月～10月が旬。
「幸水」、「新高」など産地毎の収穫時期の差で旬のものが長期間出荷される。
（収穫量全国3位）



りんどう

9月上旬から咲く濃い青紫の「ふくしまほのか」や9月中旬から咲く紫ピンクの「ふくしまかれん」が人気。
（出荷量全国4位）



なめこ

ぬめりが強くしつかりした歯ごたえが特徴。世界初の栽培実験は福島県で成功。
（生産量全国4位）



米

食味の良さも有名。トップブランドとして「福、笑い」の生産に力を入れている。
（収穫量全国5位）



福島牛・鶏肉

「福島牛」は、良質な霜降り。鶏肉は、「会津地鶏」、「川俣シャモ」が有名。（肉用牛飼養頭数全国16位）



ヒラメ

9月～11月が旬。
黒潮と親潮が混じり合う海で生まれ「常磐もの」として高く評価。（漁獲量全国3位）



福島県内の各地域における農林水産物

県中地域

【農畜産物】水稲、きゅうり、トマト、ピーマン、なす、ねぎ、いちご、エゴマ、りんご、日本なし、肉用牛
【林産物】生しいたけ、なめこ、木炭
【水産物】食用コイ（養殖）

県北地域

【農畜産物】水稲、きゅうり、いちご、もも、日本なし、りんご、ぶどう、かき、切り花（キク）、花木（枝物）、肉用牛、乳用牛、ブロイラー、川俣シャモ

会津地域

【農畜産物】水稲、そば、アスパラガス、きゅうり、トマト、りんご、かき、宿根かすみそう、会津地鶏
【林産物】桐、うるし

相双（そうそう）地域

【農産物】水稲、大豆、甘しょ、たまねぎ、ブロッコリー、ねぎ、いちご、日本なし、ぶどう、トルコギキョウ、胡蝶蘭
【水産物】ヒラメ、カレイ類

南会津地域

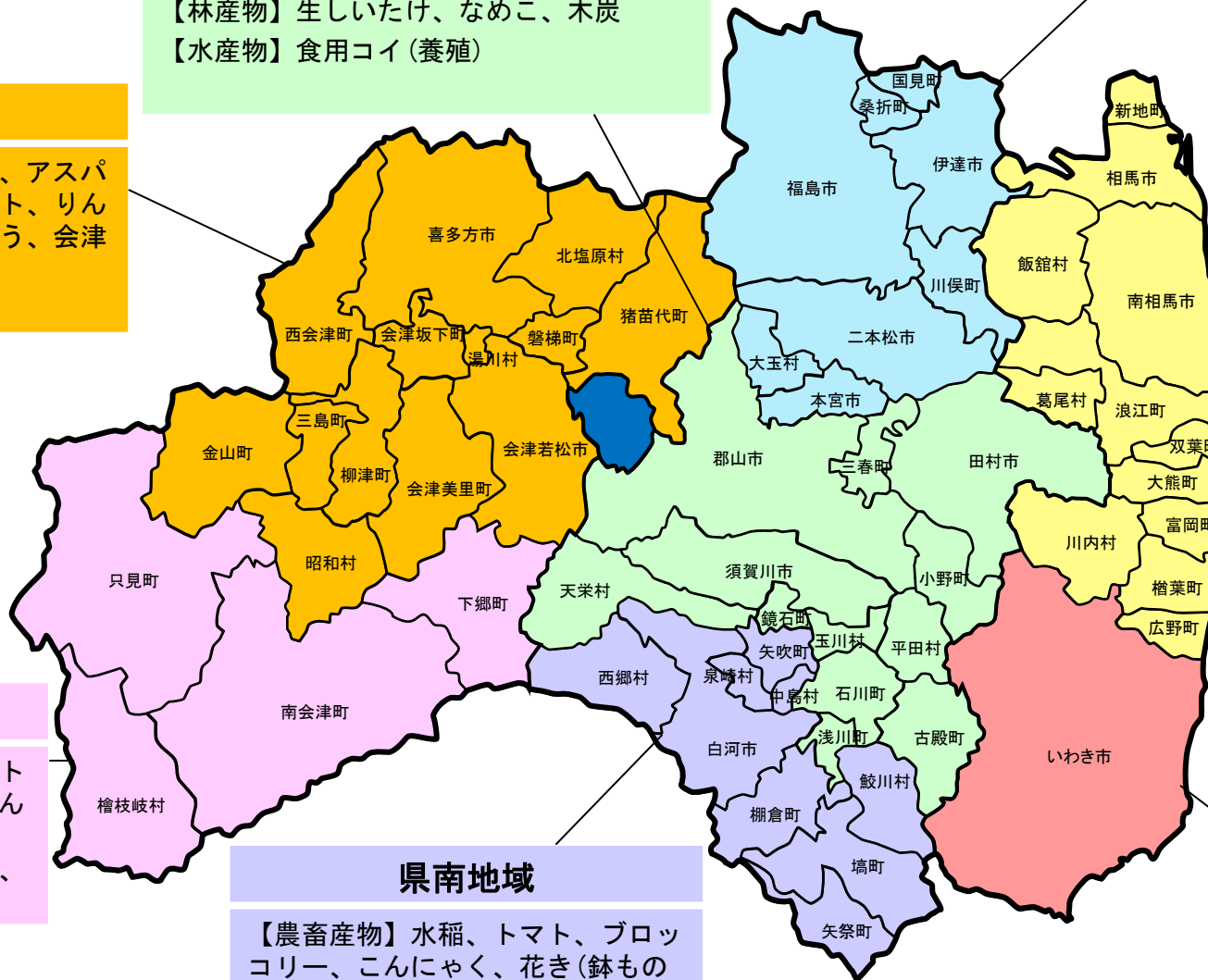
【農産物】水稲、そば、トマト、アスパラガス、りんご、宿根かすみそう
【林産物】山菜、きのこ、からまつ、広葉樹

県南地域

【農畜産物】水稲、トマト、ブロッコリー、こんにゃく、花き（鉢もの類）、乳用牛、豚
【林産物】すぎ、生しいたけ、木炭

いわき地域

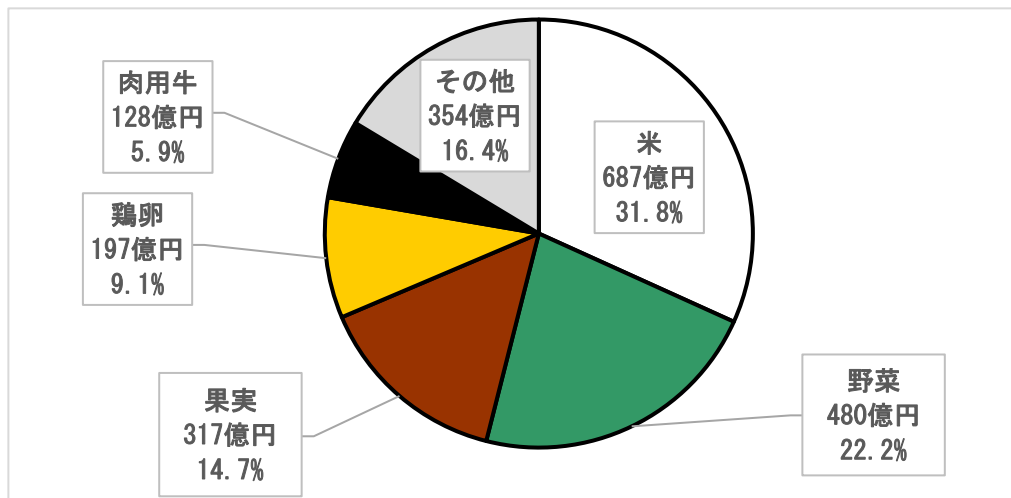
【農産物】水稲、トマト、いちご、ねぎ、日本なし
【林産物】生しいたけ
【水産物】カツオ、サバ、サンマ、ヒラメ、シラス、ウニ、メヒカリ



福島県の農業（１）

- ・農業産出額は2,163億円で全国16位。うち米が687億円（31.8%）、野菜が480億円（22.2%）、畜産が542億円（25.1%）。
- ・農畜産物の生産状況は、ももが全国2位、日本なし、宿根かすみそうが3位、きゅうり、りんどうが4位、水稲が5位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分		年次	福 島 県	全 国	全国順位
水稲	収穫量	R6	356,800 t	7,345,000 t	5
きゅうり	収穫量	R5	39,200 t	530,200 t	4
アスパラガス	収穫量	R5	1,340 t	24,600 t	9
トマト	収穫量	R5	21,000 t	681,400 t	8
もも	収穫量	R6	29,100 t	109,700 t	2
日本なし	収穫量	R6	14,800 t	172,700 t	3
りんどう	出荷量	R5	3,000 千本	69,000 千本	4
宿根かすみそう	出荷量	R5	8,630 千本	47,200 千本	3
肉用牛	飼養頭数	R6	50,500 頭	2,672,000 頭	16
ブロイラー	飼養羽数	R6	751 千羽	144,859 千羽	26 *

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

農業産出額のデータ

区 分	福島県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,163 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	16
米	687 億円 (31.8)	15,193 億円 (16.0)	7
麦類	1 億円	678 億円	23 *
雑穀	3 億円	77 億円	7
豆類	3 億円	572 億円	24
いも類	16 億円	2,301 億円	14
野菜	480 億円 (22.2)	23,243 億円 (24.5)	16
果実	317 億円 (14.7)	9,590 億円 (10.1)	8
花き	83 億円	3,522 億円	13
工芸農作物	7 億円	1,467 億円	19
その他作物	11 億円	585 億円	14 *
畜産	542 億円 (25.1)	37,212 億円 (39.2)	19
肉用牛	128 億円	7,696 億円	17
乳用牛	80 億円	9,249 億円	23
生乳	75 億円	8,310 億円	22
豚	100 億円	7,194 億円	21
鶏	232 億円	12,033 億円	21
鶏卵	197 億円	7,413 億円	17
ブロイラー	16 億円	4,471 億円	29 *
その他畜産物	2 億円	1,041 億円	24
加工農産物	14 億円	513 億円	9

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得（全国）」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」
注：（ ）は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「－」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

福 島 県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は13万3,700haで全国7位。うち田が9万4,800ha、畑が3万8,900ha。
- ・農業経営体数は4万2,598経営体で全国4位。うち法人経営体が756経営体で12位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は6,861経営体で全国11位。うち法人数が712法人で14位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が4億円で全国3位、経営体数は120経営体で2位。

耕地面積

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
耕地面積	133,700 ha	4,272,000 ha	7
田	94,800 ha	2,319,000 ha	5
畑	38,900 ha	1,952,000 ha	10
普通畑	28,100 ha	1,118,000 ha	9
樹園地	6,280 ha	248,600 ha	11
牧草地	4,550 ha	585,900 ha	7
参考) 総土地面積	13,784.41 km ²	377,975.68 km ²	3

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	12,673 ha	256,676 ha	4

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
農業経営体数	42,598 経営体	1,075,705 経営体	4
法人経営体	756 経営体	30,707 経営体	12
総農家数	62,673 戸	1,747,079 戸	4
販売農家	41,060 戸	1,027,892 戸	3
参考) 世帯総数	742,911 世帯	55,830,154 世帯	21
集落営農数	432 集落営農	13,998 集落営農	15

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	56,067 ha	2,593,345 ha	11
集積率	41.7 %	60.4 %	24

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	51,599 人	1,363,038 人	5
男	30,328 人	822,144 人	5
女	21,271 人	540,894 人	6
65歳以上	38,596 人	948,621 人	3
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	74.8 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	6,861 経営体	216,784 経営体	11
法人数	712 法人	29,128 法人	14
参考) 人口総数	1,833,152 人	126,146,099 人	21

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 20,919 百万円 事業体数 1,150 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	18 4
農産物直売所	総額 31,616 百万円 事業体数 610 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	12 12
観光農園	総額 553 百万円 経営体数 120 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	23 15
農家民宿	総額 371 百万円 経営体数 120 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	3 * 2
農家レストラン	総額 759 百万円 事業体数 50 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	22 * 3

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

福 島 県 の 林 業

- ・林業産出額は133.5億円で全国10位。うち木材生産が94.3億円、栽培きのこ類生産が38.6億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国6位、広葉樹が3位、すぎ、あかまつ・くろまつ、なめこが4位。

林業産出額

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
林業産出額	133.5 億円	5,562.5 億円	10
木材生産	94.3 億円	3,257.0 億円	7
栽培きのこ類生産	38.6 億円	2,199.2 億円	16

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
素材生産量	931 千m ³	20,647 千m ³	6
針葉樹	832 千m ³	18,926 千m ³	7 *
すぎ	666 千m ³	11,917 千m ³	4
あかまつ・くろまつ	39 千m ³	494 千m ³	4
広葉樹	99 千m ³	1,721 千m ³	3 *
なめこ	生産量 1,683 t	23,752 t	4 *
エリンギ	生産量 107 t	35,793 t	7 *
生しいたけ	生産量 3,482 t	63,374 t	6
生きくらげ類	生産量 91 t	1,680 t	6 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
林野面積	942,413 ha	24,770,201 ha	4
国有林	373,261 ha	7,153,338 ha	3
民有林	569,152 ha	17,616,863 ha	7
人工林面積	340,056 ha	10,133,111 ha	7

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
製材工場数	125 工場	3,749 工場	8
製材用素材の入荷があった工場数	125 工場	3,722 工場	7
国産材のみ	107 工場	3,116 工場	7
国産材と輸入材	16 工場	511 工場	12

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
林業経営体数	777 経営体	34,001 経営体	17
法人経営体	94 経営体	4,093 経営体	15

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

福 島 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は111億円で全国33位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のひらめが全国3位、さんまが4位、海面養殖業のばらのりが6位、内水面養殖業のにじますが4位。

漁業産出額

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	111 億円	15,265 億円	33
海 面 漁 業	110 億円	9,534 億円	24
海 面 養 殖 業	1 億円	5,731 億円	34

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	421 経営体	65,662 経営体	35
内水面漁業経営体数	33 経営体	4,076 経営体	33

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,074 人	121,389 人	30
男	1,019 人	109,757 人	30
女	55 人	11,632 人	28

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
漁船隻数	459 隻	109,283 隻	35
動力漁船	354 隻	58,906 隻	33

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	58,027 t	3,777,921 t	18 *
海面漁業漁獲量	57,742 t	2,926,411 t	14
さんま	2,282 t	25,753 t	4 *
ひらめ	844 t	6,271 t	3
海面養殖業収穫量	285 t	851,509 t	34 *
ばらのり	186 t	6,710 t	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	1,058 t	51,908 t	10 *
内水面漁業漁獲量	3 t	21,567 t	34 *
さけ類	1 t	8,034 t	8 *
内水面養殖業収穫量	1,055 t	30,341 t	7 *
にじます	316 t	4,734 t	4 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分		福 島 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	x 百万円	179,159 百万円	- *
	事業体数	0 事業体	1,220 事業体	37
水産物直売所	総額	x 百万円	34,988 百万円	- *
	事業体数	0 事業体	810 事業体	33
漁家民宿	総額	x 百万円	5,389 百万円	- *
	経営体数	0 経営体	540 経営体	29
漁家レストラン	総額	x 百万円	13,249 百万円	- *
	事業体数	0 事業体	380 事業体	33

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

福島県の農林水産業の話題等（１）

原子力災害被災地域の営農再開の推進

原子力災害被災12市町村における営農再開率は、令和6年3月末現在で49.7%となっている。

避難指示解除の時期によりそれぞれ進捗は異なるものの、営農再開は着実に進展しており、県外企業の参入による甘藷（かんしょ）の大規模産地の形成を始め、トラクタの自動操舵等のスマート農業技術を活用した水稻等の実証・普及、また、震災後、新たな園芸品目として花き栽培のほか、ブロッコリー、たまねぎ、長ネギ等の高収益作物などの取組が拡大している。



トルコギキョウ栽培（浪江町）



ブロッコリー収穫機による作業（浪江町）

森林林業の再生に向けた取組

平成25年度から森林の公益的機能の維持増進を図る森林整備と放射性物質対策を一体的に実施する事業（ふくしま森林再生事業）に取り組み、汚染状況重点調査地域等（解除地域を含む）を対象に森林整備等を実施している。これまで45市町村で実施しており、令和6年3月末実績は間伐等15,690ヘクタール、森林作業道1,897キロメートルとなっている。

また、原木林や特用林産物の産地再生、木材製品生産拠点施設の整備、ほんしめじ等の県オリジナル品種の普及、「林業アカデミーふくしま」の開講による林業への就業希望者や林業従事者等を対象とした研修を行っている。

（写真は福島県提供）



放射性物質対策と一体となった
森林整備（須賀川市）



ほんしめじ（福島県オリジナル品種）

水産業の復興に向けた取組

東日本大震災以降、漁港や漁船など漁業生産基盤の復旧が進み、漁協の自主検査等による安全な県産水産物の出荷体制が構築された。平成24年6月には試験操業が開始され、令和3年4月から本格的な操業に向けた取組へと移行した。沿岸漁業の水揚量は6,644トン（令和5年）と震災前（平成22年）の26%であり、引き続き首都圏等での常設販売コーナーの設置や、「常磐もの」を始めとした県産水産物の魅力やおいしさ等の発信など、水揚げ拡大と連動した販路回復、消費拡大の各種取組を展開している。

（写真は福島県提供）



首都圏での常設販売コーナー（福島鮮魚便）



「ふくしま常磐もの」の情報サイト

福島県の農林水産業の話題等（2）

県産農林水産物のブランド力強化に向けた取組

（写真は福島県提供）

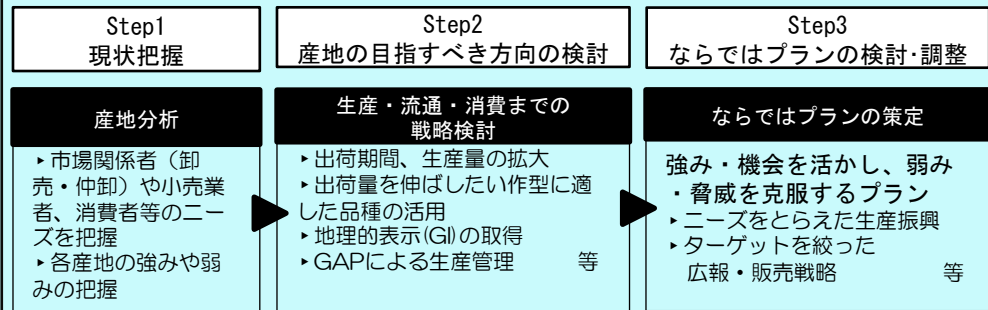
県産農林水産物の競争力強化を図るため、令和4年9月に「福島県農林水産物ブランド力強化推進方針」を策定した。本方針に基づき、市場のニーズを的確に把握し、生産から消費に至る取組の連携強化を図りながら県産農林水産物の高付加価値化・生産力強化を進めるとともに、戦略的な情報発信を一体的に行うことでブランド力の強化を推進している。

高付加価値化の取組として県オリジナル品種等の導入を進めており、令和3年度には「かおり、あまみ、ふくよかさ」を特徴とした主食用米「福、笑い」が、令和4年度には甘みや香りが強く大粒のものが多いいちごの「ゆうやけベリー」がデビューし、作付拡大・消費拡大に取り組んでいる。また、令和6年度には酒処ふくしまの酒粕をエサに混ぜて育てたやわらかく、甘みがつよく、ジューシーな味わいのブランド牛「福粕花（ふくはっか）」がデビューし、認知度向上に取り組んでいる。

福島ならではの農林水産物ブランド力強化推進

県産農林水産物のブランド力強化を図るため、生産から消費に至る現状分析や、市場・卸・小売のニーズなどの精緻な調査結果に基づき、「ならではのプラン」を産地毎に策定し、産地の生産力と競争力の強化に向けた取組を推進。

産地において、最適な組み合わせで高付加価値化と生産力強化を進める産地“ならではの”戦略を検討



産地における“ならではのプラン”の実践

- 新しい品種等の導入拡大
- パイプハウスの導入促進
- パッケージ等の改善
- テストマーケティングの実施と結果に応じた出荷規格の見直し
- 市場等関係者や消費者等への情報発信強化等
- ※ プランの実践に必要な施策を活用

令和5年度「ならではのプラン」策定

- 〇もも（県北地方）
- 〇アスパラガス（会津地方）
- 〇ねぎ（いわき地方）

令和6年度「ならではのプラン」策定

- 〇あんぽ柿（JAふくしま未来・伊達果実農協）
- 〇ピーマン（JA福島さくら）
- 〇きゅうり（JA夢みなみ）
- 〇いちご（JA東西しらかわ）
- 〇昭和かすみ草（JA会津よつば）

福島県オリジナル品種・ブランド



福、笑い



ゆうやけベリー



福粕花

福島県公式YouTube

